

# インマヌエル中目黒キリスト教会

## 2010年2月21日

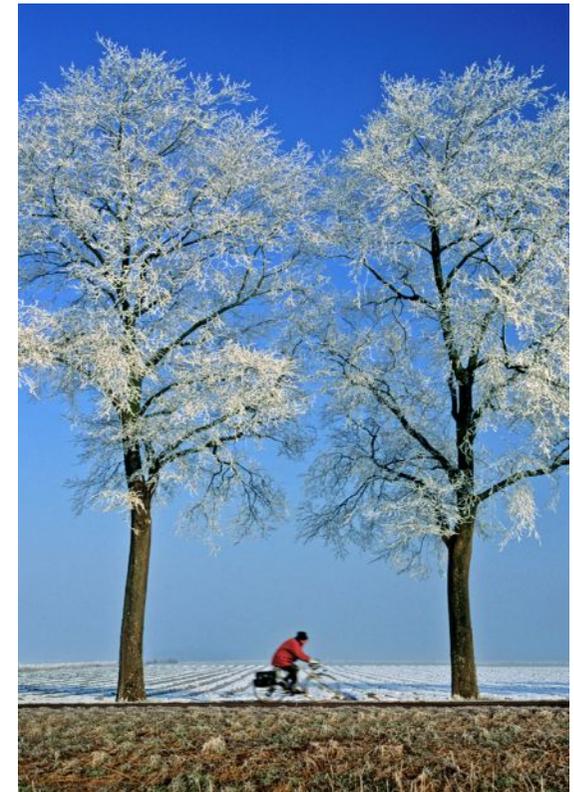
### 聖日礼拝

ヨナ書連講②

「備え給う神」

ヨナ書1章4-17節

竿代 照夫 牧師



# 聖書朗読

## 旧約聖書

ヨナ書1章4-17節

4 さて、

主は大風を海に吹きつけられた。  
それで海に激しい暴風が起こり、  
船は難破しそうになった。

5 水夫たちは恐れ、  
彼らはそれぞれ、  
自分の神に向かって叫び、  
船を軽くしようと船の積荷を  
海に投げ捨てた。  
しかし、  
ヨナは船底に降りて行って  
横になり、  
ぐっすり寝込んでいた。

6 船長が近づいて来て彼に言った。

「いったいどうしたことが。

寝込んだりして。

起きて、

あなたの神にお願いしなさい。

あるいは、

神が私たちに心を留めて

くださって、

私たちは滅びないで

すむかもしれない。」

7 みなは互いに言った。

「さあ、くじを引いて、

だれのせいで、

このわざわいが

私たちに降りかかったかを

知ろう。」

彼らがくじを引くと、

そのくじはヨナに当たった。

8 そこで彼らはヨナに言った。  
「だれのせいで、  
このわざわいが私たちに  
降りかかったのか、  
告げてくれ。  
あなたの仕事は何か。  
あなたはどこから来たのか。  
あなたの国はどこか。  
いったいどこの民か。」

9 ヨナは彼らに言った。

「私はヘブル人です。

私は海と陸を造られた天の神、  
主を恐れています。」

10 それで人々は非常に恐れて、  
彼に言った。  
「何でそんなことをしたのか。」  
人々は、  
彼が主の御顔を避けて  
のがれようとしていることを  
知っていた。  
ヨナが先に、  
これを彼らに告げていたからで  
ある。

11 彼らはヨナに言った。

「海が静まるために、  
私たちはあなたを  
どうしたらいいのか。」

海がますます荒れてきたからで  
ある。

12 ヨナは彼らに言った。

「私を捕えて、  
海に投げ込みなさい。  
そうすれば、  
海はあなたがたのために  
静かになるでしょう。  
わかっています。  
この激しい暴風は、  
私のためにあなたがたを  
襲ったのです。」

**13** その人たちは船を陸に戻そうと  
こいだがだめだった。  
海がますます、  
彼らに向かって荒れたからで  
ある。

14 そこで彼らは主に願って言った。

「ああ、主よ。

どうか、

この男のいのちのために、

私たちを滅ぼさないでください。

罪のない者の血を

私たちに報いしないでください。

主よ。あなたは

みこころにかなったことを

なさるからです。」

**15** こうして、

彼らはヨナをかかえて  
海に投げ込んだ。

すると、

海は激しい怒りをやめて  
静かになった。

**16** 人々は非常に主を恐れ、  
主にいけにえをささげ、  
誓願を立てた。

**17** 主は大きな魚を備えて、  
ヨナをのみこませた。  
ヨナは三日三晩、  
魚の腹の中にいた。

# 説教

ヨナ書連講②

「備え給う神」

ヨナ書1章4-17節

竿代 照夫 牧師

主テキスト：

「主は大きな魚を備えて、  
ヨナをのみこませた。  
ヨナは三日三晩、  
魚の腹の中にいた。」

**(ヨナ1:17)**

## A. 神の御顔を避けたヨナ(1-3節)

- 御顔とは：  
太陽のような光と暖かさ、受容  
(詩篇67:1)
- 御顔を避けるとは：  
罪や反逆のゆえに神と離反する
- 諦めない主の御手：  
神の忍耐強い働きかけ

## B. 神の備え(4-17節)

### 1. 嵐(4節)

- 大嵐：パウロの時の嵐と類似  
(使徒**27**章)
- ジョン・ニュートンと嵐：  
敬虔な母の死  
—寄宿学校から脱走  
—荒くれた少年船員  
—奴隸船の船長—大嵐  
—悔い改め—牧師に

## 2. 良い性格の船長と水夫たち (5節)

- 異邦人の「信仰」と親切：  
真剣な祈りとヨナへの親切
- ヨナの不貞寝：  
無関心の憩いと悪い「証し」

### 3. 罪を告白する機会の備え (7-8節、11-12節)

- 籤が当たる：  
当たり籤(箴言 16:33)と  
告白の機会
- 犠牲を申し出る：  
責任を被る男らしさ

## 4. 大魚(17節)

- ・ 大いなる恵の徴：  
生命維持装置も付加として
- ・ 魚腹での祈り (2章)
- ・ 富永さんの証し

おわりに

- 「神の備え」に感謝しよう
- 「神の導き」に従おう